

Faculty of

同志社大学

スポーツ健康科学部

HEALTH



and

SPORTS



SCIENCE



GUIDE BOOK 2023

支え、導き、共に歩む—— 「スポーツ」と「健康」のエキスパートに



スポーツには、トップアスリートが見せる記録や最高の技術を競う世界と子供から高齢者までが楽しむ生涯スポーツとしての二つの側面があります。いま、そのどちらにおいても正しく効果的なトレーニングとサポートのための専門知識と高い技術が求められています。

「人生100年」と言われる時代、健康長寿に対する社会的な意識は、ますます高まりを見せています。QOLの向上に欠くことの出来ない「スポーツ」と「健康」という密接に関わりを持つ学問領域へ、産学共同研究やフィールドワークを通して科学的アプローチで挑みます。

オリンピックやワールドカップに代表されるように「スポーツ」は、いま、政治や経済を動かすまでの存在となりました。これまでの「する」「みる」に加えて、「ささえる」という視点でスポーツを考える時、そこにはマーケティングやマネジメントという学問領域が必要とされます。



《陸上中長距離》
田中希実
[TOKYO2020 オリンピック]
陸上女子 1500m 8 位入賞

現代社会では、生活の構造的な変容により、かつてないほど「スポーツ」と「健康」に対する関心が高まっています。スポーツを健康増進や生活を充実させる楽しみとして捉える人々が増えてきているのです。そうした時代のニーズに応えるための知識を同志社大学スポーツ健康科学部で学び、健康とスポーツ活動、および、それらを取り巻く社会環境に関わる知見や理論などの「スポーツ健康科学」全般を理解します。広い領域で貢献できる人材の養成を目指しています。

- Policy ————— 01
- Learning ————— 03
- LIVE! ゼミ ————— 05
- 私の同志社ライフ ————— 11
- 施設紹介 ————— 12
- キャリアデザイン ————— 13
- 教員紹介 ————— 15
- 留学・国際交流 ————— 17
- 奨学金・学費・入試情報 ——— 18
- 研究室を訪ねて ————— 19



《ラグビー》
鈴木康生



《チアリーダー》
富田 萌



《陸上》
加来勇馬



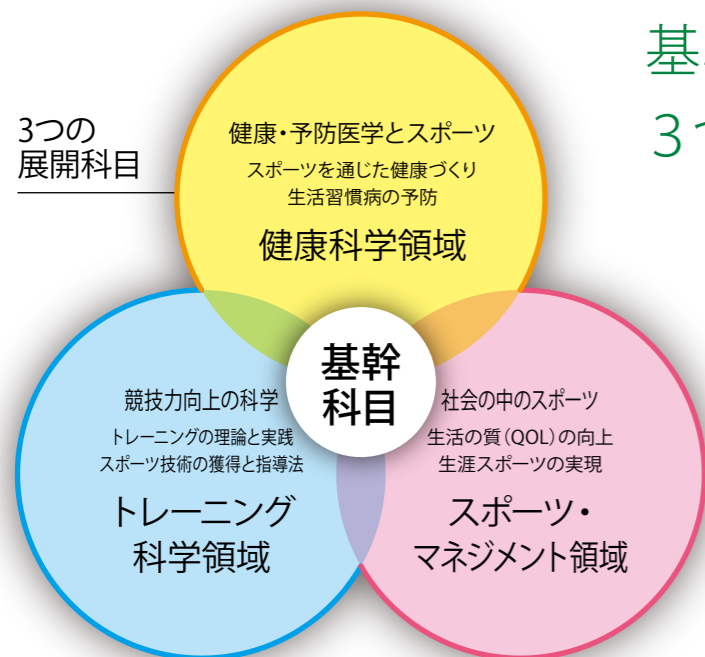
学びの地は京田辺校地。
恵まれた学習・研究環境の中
新たな学問領域への探究心は飛翔する。

1986年開校の京田辺校地には、790,000㎡もの広大な敷地に約9,000人が学生生活を送っています。最先端の実験設備・機器がそろそろほか、マルチメディアライブラリーを備えた図書館や大規模な情報教育設備、40以上のスポーツ競技が可能な体育施設が完備されています。



基幹科目をベースに 3つの学修領域を多面的に展開。

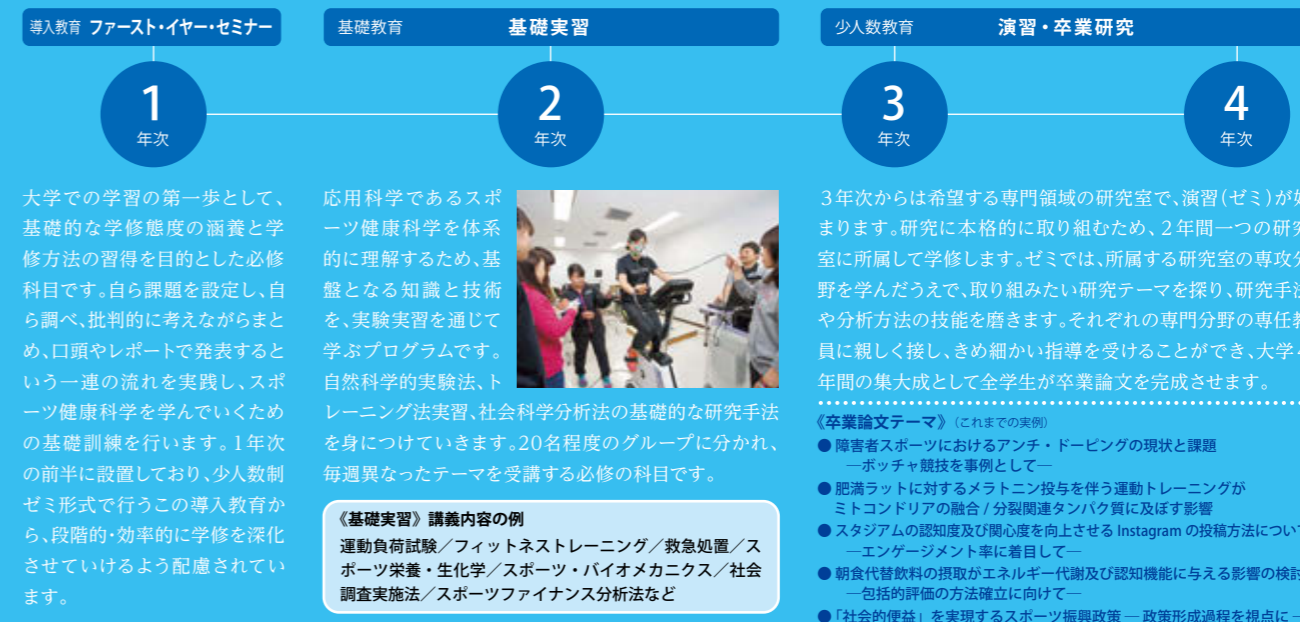
3つの
展開科目



スポーツ健康科学部では、「健康科学領域」「トレーニング科学領域」「スポーツ・マネジメント領域」という3つの学修領域のいずれかを軸としながらも、複数の領域にわたるフレキシブルな科目選択ができます。さらに、総合大学ならではのメリットを生かして他学部の科目選択も可能です。少人数の指導体制のもと、横断的・複合的な学習でめざす将来へと導きます。

- 少人数制の教育
- 幅広い実験・実習能力を習得する文理融合型学問
- 総合大学だから出来る他学部の科目選択

スポーツ健康科学部の特徴的な学びの流れ



●カリキュラムは段階的に学べるよう科目ごとに履修年次が定められています。

	1 年次 ~	2 年次 ~	3 年次 ~	4 年次	
必修基礎科目	●ファースト・イヤー・セミナー ●スポーツ生理学 ●スポーツ健康科学論入門 ●スポーツ社会学 ●生理学	●基礎実習			
必修演習科目	学部の専門分野を学ぶ上で核となるこれらの科目でしっかりと基礎を固めます。	2年次の「基礎実習」では、最新スポーツ科学の基礎実験・実習を体験し、3・4年次の研究テーマを決める準備をします。	●演習Ⅰ ●演習Ⅱ	●演習Ⅲ ●演習Ⅳ ●卒業研究 A ●卒業研究 B	
基幹科目	●健康運動論 ●スポーツ政策論	●公衆衛生学 ●トレーニング論 ●スポーツ運動学 ●スポーツ教育学			
展開科目	●スポーツ機能解剖学	●生命医学概論 ●人体の構造と機能Ⅰ ●スポーツ医学 A(内科系) ●スポーツ医学 B(外科系) ●生活習慣病概論 ●発育発達と老化 ●栄養学 ●学校保健 ●スポーツ栄養学 ●スポーツ・バイオメカニクス	●コンディショニング論 ●スポーツ心理学 ●スポーツ測定評価論 ●スポーツの原理 ●メンタル・トレーニング論 ●コーチング論 ●スポーツ・マーケティング論 ●障がい者スポーツ論 ●障がい者スポーツ論(応用) ●スポーツ統計情報処理	●スポーツ倫理学 ●スポーツ・トピックスⅠ ●スポーツ・トピックスⅡ ●スポーツ行政論 ●スポーツ組織文化論 ●インターンシップ演習 ●スポーツ健康科学グローバル演習 ●身体運動制御論 ●スポーツ生体ダイナミクス	
応用科目	●スポーツ方法実習(フィットネス、器械運動、水泳、バスケットボール、バレーボール、サッカー、卓球、テニス、柔道、剣道、ダンス、ゴルフ、陸上競技、フェンシング、バドミントン、 ●スポーツ健康科学特講義 S(海外フィールドワーク科目)	●スポーツ指導法実習(フィットネス、器械運動、水泳、バスケットボール、バレーボール、サッカー、卓球、 ●スポーツ健康科学応用演習	ウォータースポーツ、スキー、ニュースポーツ、野外活動など) テニス、柔道、剣道、ダンス、スキー、ゴルフ、バドミントン、陸上競技 など)		
隣接科目	●スポーツ健康科学のための自然科学入門 A ●スポーツ健康科学のための自然科学入門 B ●現代社会論	●生物学 ●学習心理学(学習・言語心理学Ⅰ) ●生理心理学(神経・生理心理学) ●学校心理学(教育・学校心理学) ●健康心理学(健康・医療心理学)	●生化学 ●内科学概論	●臨床解剖学概論 ●外科学概論(病態生理学)	●生命医学部および心理学部と専門科目を一部共通化し、 医学・健康科学関連科目の強化が図られています。

※その他に、全学共通教養教育科目、外国語教育科目(全学共通教育科目)などがあります。

トレーニング
科学領域

いま、ゼミが熱い! : 「ドイツで出会い、京田辺で学ぶ。」

「からだところろ」、「競技と生涯スポーツ」
人生を豊かにするスポーツのあり方を探求。

田附ゼミ テーマ: 「スポーツ運動学: 豊かな人生につながるスポーツを目指して」



スキャンラン
シャノン さくら

入学後しばらくは女子バスケットボールの部活中心の、まるで高校生活の延長のような日々を送っていました。しかし、2年次生の春にEUキャンパスプログラムでドイツに4カ月間留学、そこで専門的に学ぶことのおもしろさに目覚めました。そのとき、ドイツに滞在中だった田附先生と初めて出会いました。すごく面白い先生で、ドイツ人のように何でも「なぜ、なぜ」と理詰めで聞いてきます。先生と学生ではなく人と人として対等に話してくれました。それが縁で帰国後は先生のゼミに入ろうと決めました。

ゼミで私が選んだテーマは「スポーツとジェンダー」。LGBT(セクシャルマイノリティ)のアスリートが知人にたくさんいて、カミングアウトできずにチームをやめるなど問題が生じていたからです。カミングアウトすることが当事者にプラスになるとの先行論文があり、同志社大学体育会で匿名アンケートを実施するなどして、カミングアウトしやすいチーム環境とはなにかの研究を進めています。ゼミの時間はとても楽しく、いつも90分があつという間。自由な雰囲気でもメンバーはみんな遠慮しないで自由に語り合っています。将来はここで学んだことを生かして、カウンセラーなど人々の心の重荷を軽くする仕事に就ければと願っています。

留 学

留学のもう一つの成果 人見知りの自分にさようなら。

ドイツ留学では、学問のおもしろさに目覚めたこと以外に、それまでの人見知りの自分から、誰にでも積極的に話しかけられる自分に変身できたという大きな成果もありました。休みごとにドイツ、ポーランド、チェコ、フランスなどを一人で旅行したのですが、電車は定刻に来ないし説明もない、衣食住の全てで何から何までひたすら聞かないと生きていけない体験をしたからです。留学の予想外の副産物。おすすめです。



2019年度「セメスタープログラム・ドイツ語」に参加

学生の自主性を尊重、個性を生かすことを心がけています。



田附俊一 教授

ドイツへの在外研究で豊かな人生には4つのLが必要なことを学び、以来、豊かな人生につながるスポーツの研究をメインテーマにしています。4つのLとは競争や成績(Leistung)、欲求(Lust)、適度な負荷やプレッシャー(Last)、そして笑顔(Lachen)。この4つを提供してくれるのは「遊び」であり、遊びは成績評価に縛られないスポーツとも言えます。

そこで運動遊びを介した競技者同士のコミュニケーションの研究を主要テーマとして、例えばドイツで始まった球技「バルシューレ(Ballschule)」を幼児教育の現場や京都府のタレント発掘事業・京都きつずに導入、これが競技に必要な互いの動きを読み取る能力の養成や、種目を超えた運動学習と指導などに役立つことを検証しています。

ゼミ生指導のモットーは徹底した自主性の尊重です。あくまで学生が主体で、それぞれの癖(特徴)を直すのではなく

生かすこと。テーマは自由で、各自が興味のあるテーマを探し出し、その追究の中から論理的思考と実践力を学んでもらいます。

私はドイツと関わりが深く、ドイツは第二の故郷。ドイツで現地の友人のサポートを受けてスポーツ文化を体験する「スポーツ健康科学特殊講義S」や、本学「EUキャンパスプログラム」、ドイツ語を学びながらドイツの運動教育を学ぶ「スポーツ健康科学応用演習」などで、ドイツを窓として多様な価値観を体験してもらい試みにも力を入れています。

ご希望とあらば、造り手をリスペクトした食事のたのしみとお酒のたしなみ、誤解なく伝わる言葉の選び方(外国語と対比するとわかりやすい)、年齢や立場を超えたコミュニケーションを伝えるのも役割かと思っています。

上林ゼミ

テーマ: 「運動を制御する脳・神経系メカニズム」

自らの疑問を題材に ゼミでの学びの集大成として 卒業研究に挑みたい。

三宅和樹

このゼミでは被験者から得られた実験結果を数値化し、データ解析、考察という一連の流れを通して問題解決能力を養っていきます。また、仮説を立て、実験をデザインするという創造性のある学びも魅力です。私自身、小学生の頃から野球をしているのですが、ある時突然ボールを投げるのが苦手になったことがありました。卒業研究はその実体験とその時に抱いた疑問を題材に実験と研究を行い、授業で養ってきた自分の考えを相手にわかりやすく伝えることを大切にしようと思います。



スポ健 PICKUP!

1 インターンシップ 演習

予想以上に得るものが多かった!
肌で感じる会社の雰囲気や、
就活へのやる気が高まりました。

自分で選んできたスポーツや健康にかかわる企業において、一定の基準を満たしたインターンシップに参加し、報告・申請を行うと大学の単位として認定される科目です。大学では学べない、実社会で貴重な経験を積むとともに、修学の目的が明確になり、キャリアプランの設計に役立ちます。

2 ウォーター スポーツ

心身のリフレッシュを体感しながら
学ぶのは自然と向き合う冒険心。
自然を克服する達成感忘れられません。

実技科目「スポーツ方法実習」ではテニスやサッカーなど様々な種目を設置しています。中でも人気の「ウォータースポーツ」では、琵琶湖のBSCウォータースポーツセンターでディンギー(ヨット)、カヤックやウインドサーフィンなどの実習をします。



若原ゼミ

テーマ: 「筋肉活動への科学的アプローチ」

実験を通して学んだのは 「科学的アプローチ」と 「チームワーク」。

佐伯克至

若原ゼミの特徴は、徹底した実験主義です。学内にいる豊富な機材を使って、様々な観点から「筋肉」を対象とする実験に取り組んでいます。ゼミ生みんなが協力しながら実験に当たるので、ゼミのチームワークは抜群です。ここでの学びはスポーツの種目や競技レベルに合わせたトレーニング方法の開発、健康長寿のための運動実践として社会に還元されますが、私自身は保健体育の教師を目指しており、大学での学びを母校への恩返しにつなげたいと思っています。



いま、ゼミが熱い! : 「教員と学生が切磋琢磨」

未知なる病や超高齢社会にどう立ち向かうか
いま求められる運動の健康メカニズムを探求する。

柳田ゼミ

テーマ: 「公衆衛生学の立場から健康や運動の意義を科学する!」



増井里真

小学生の頃からチアダンスを学び、大阪府立今宮高校ではダンス部に所属して、アメリカでの世界大会優勝も体験しました。大学では応援団チアリーダー部に所属しています。

このチアの要素を活用して健康になる方法、特に高齢者福祉に役立てる方法を研究したくて、ご当地ダンベル体操を創出された柳田先生のゼミを選びました。

チアにはスタンツ(組み体操のようなチアの技)、ダンス、コール(かけ声)、表情(笑顔)の4つの要素があります。現在先行論文を調べているところですが、音楽をかけリズムに合わせて体を動かすことが健康に役立つ「ダンス効果」があることが分かりました。また、ダンスの後に体を落ち着かせるクールダウン、つまり呼吸にも健康効果が立証されています。私が今注目しているのはチアの中でも特に「笑顔」。これまで触れることが少なかった「チアの笑顔」に健康効果があると立証できれば、体を大きく動かせない人でも可能で、世界中のあらゆる年齢層の人たちの役に立てるからです。

将来はチアを通して子どもから高齢者まで幅広い層の人々の健康作りに寄与しながら、自分自身が踊ることも続けたいと思っています。将来チアの部活の指導もできるように教職課程も履修しています。

クラブ活動

チアリーダー部の活動で
たくさんの人と仲良くなれました。

週5回、授業の後に約30人の仲間と応援団チアリーダー部の部活を楽しんでいます。野球、アメフト、ボート、ヨット…いろんな試合の応援をする中でたくさんの人と仲よしくなれ人生が思い切り広がりました。主役は応援する相手ですが応援団は本来黒子の存在。でも、同志社大学のスポーツメディアが応援する私たちの写真をインスタにアップ、「いいね」の回数が1位になったことも。主役ではなく人のためにしていることで主役にもなれるんだと感動しました。



科学的探求の方法論習得を大切にしています。



柳田昌彦 教授

歩く、走る、跳ぶ、泳ぐなどの動作・運動は競技の手段だけではなく、生活習慣病や寝たきりの予防・改善にも役立ちます。超高齢社会を迎えたわが国で、中高年者の生活習慣病を予防して健康寿命を延ばすために、公衆衛生学の立場からこうした運動をどう生かすか。これが研究テーマです。メタボリックシンドローム予防のためには有酸素運動がよく知られていますが、一方で年齢とともに筋肉が減り、骨が弱くなりますので、その対応として抵抗負荷をかけるレジスタンストレーニング(筋トレ)も必要です。筋肉や骨は何歳になってもトレーニングで機能を向上できます。そこで、これらの運動の強度や頻度、どちらを先にするのかなど、効果的な活用法を明らかにすることで多くの人々の健康的な人生に寄与できればと考えています。例えば、これまでにレジスタンストレーニングを地域や職場などの集団で、楽しく取り組むことを目的として、軽量ダン

ベルを用いた「ダンベル体操」と地元の民謡とを融合させたご当地体操を創作・提唱し、肥満や脂質異常症、高血糖などの改善や生活体力の向上などに及ぼす効果を明らかにしてきました。ゼミ生のテーマ設定では、各自が最も興味・関心のあるものを選んで取り組んでもらっています。その際、最も身につけてほしいのは「研究の方法論」。テーマを立て、文献を調べ、事実を明らかにし、新たな課題を探り出す…このための方法論は大学での研究はもちろん、仕事でも家庭でも人生のあらゆる側面で応用が効くからです。スポーツも学問も8割は厳しく、苦しいものですが、時と場合でもない感動や喜びを生み出してくれます。私は自ら剣道の修行に日々取り組んでおり、学者としての理論と現役アスリートとしての実践の両方の視点からゼミ生を指導しているのが、このゼミの特徴の一つでもあります。

石井ゼミ

テーマ: 「現代スポーツと健康長寿」

情報を集め、分析・加工し、発信する。
ゼミ内でのプレゼン機会が
私を成長させてくれました。

横山琴野

私の選んだ厳しくも人気のある石井ゼミでは、年齢や性別、目的などに合わせ、その人のためのより効果的な運動のあり方・生活のあり方を導き出すことを研究の目的とし、他大学との共同調査も行っています。調べることも多い授業の中では、調査対象に多角的にアプローチすることの大切さを強く学びました。ゼミでは自らの研究を発表する機会も多いので、情報収集力やパワーポイントの使い方などを通して養われたプレゼン力を今後の自分の武器にしていければと思っています。

スポ健 PICK UP!

3 卒業研究
発表会

お互いに切磋琢磨し、
寝る間も惜んで仕上げた論文。
最高潮の緊張感でプレゼンに臨みます。

最終学年では自身の興味あるテーマを掘り下げ、4年間の学びの集大成として卒業論文(卒業研究)を作成します。各ゼミでポスター発表を行い、ゼミ代表に選ばれた者は4年生全員参加の発表会でプレゼンテーションを行います。2019年度発表会の様子▶



高倉ゼミ

テーマ: 「トレーニング効果の科学的検証」

研究対象としての「スポーツ」。
そこから見えてくるのは
アカデミックな「面白さ」。

八木遼介

小中高と自分自身がサッカーに打ち込む中で常に考えていた「トレーニング」と「運動パフォーマンス」の関係を、生化学という学問として探求したく、高倉ゼミを選びました。例えば、よく知られている「高地トレーニング」にもプラス面だけではなく、マイナス面があることを学びました。また、ゼミの雰囲気はとてもアットホームで先生も一緒になりみんなでスポーツの話題で盛り上がりがあります。高倉ゼミでの研究は「スポーツ」のもう一つの面白さを、私に教えてくれました。

4 資格

大学での学びを活かしてそのまま資格に。
将来はスポーツで
社会を支えるひとになりたい。

所定の単位の修得で、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者、健康・体力づくり事業財団認定の健康運動指導士、日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員(初級、中級)の資格を取得できます。
※一部、検定試験合格が必要な資格もあります。

スポーツ・
マネジメント
領域

いま、ゼミが熱い! : 「自らの目で見、考える—それがフィールドワーク。」

スポーツをビジネスにすること それはスポーツを通して「QOL」向上を実現できる社会。

庄子ゼミ

テーマ: 「スポーツ産業規模の推計と産官学連携による
スタジアム・アリーナの新たなビジネスモデルの開発」



学生と一緒にプロジェクトを進めることを重視しています。



庄子博人 准教授

2015年にスポーツ庁が新設され、「するスポーツ」「観るスポーツ」に加えて、それらを支える「スポーツ産業」が近年大きく裾野を広げています。にもかかわらず、日本のスポーツ産業には経済活動などをマクロ経済統計として捉え国際比較に使える指標がありません。当ゼミでは、そうした指標の策定と、日本のスポーツGDPで最も大きな比重を占めているスポーツ施設、特にスタジアム・アリーナによる新たなビジネスモデルの開発を研究テーマにしています。スポーツ産業は規模が小さくても社会的インパクトが大きいのが特徴であり、するスポーツ、みるスポーツを社会に提供することで、人々に豊かな生活を提供する産業だと思います。ゼミでは新しいタイプのアリーナである仙台のゼビオアリーナの現地調査や亀岡の京都スタジアムの訪問などフィールドワークをふんだんに取り入れ、インターネットを使った住民調査などの併用をして研究を進めています。

卒業生の進路はスポーツ用品メーカーやプロスポーツクラブをはじめ、スポーツ産業に限らず、一般メーカー、さらにはマスコミや吉本興業などのエンタメ産業でも先輩が活躍しています。この理由は、スポーツ組織のビジネスモデルや、プロクラブのキャッシュフロー改善などを学ぶことで、スポーツ以外の分野においても通用する知識や知恵が身につくからだと思います。私自身が年長的に学生と近いこともあってゼミの雰囲気一言で言えば「和気あいあい」。人と人のつながりを大切にしています。2泊3日のゼミ合宿、年2回の懇親会や日々の飲み会などでゼミ生同士の絆を深めながら、OBOG会も年1回開催、ゲストとして講義してもらうこともあります。するスポーツが得意な人でなくても構いません。スポーツ観戦やスポーツに関わるのが好きであれば、スポーツ文化と一緒に考え盛り上げましょう。

二宮ゼミ

テーマ: 「スポーツマーケティング」

実体験を通して
見えなかったものが見えてくる。
それがフィールドワーク。

岡嶋 彩



二宮ゼミでは、社会におけるスポーツの位置づけや役割が大きく変化中、「参加者」と「観戦者」の双方を調査研究の対象とし、スポーツ消費者行動の理解をベースにスポーツ組織がより効果的に商品・サービスを提供していく仕組みを考えていきます。その中で特に重要なのがフィールドワークです。私自身も参加したフィールドワークにおいて事前に集めた情報や資料以上に、現場でしか得られない貴重な発見があることを学び、自身の研究テーマに広がりを与えてくれました。

スポ健 PICKUP!

5

フィールドワーク
(現地調査)

現地には本や講義ではわからない景色がたくさんありました。

しまなみ街道でのスポーツツーリズムの調査(二宮ゼミ)や大阪の長居球技場でのスタジアム運営のインタビュー調査(庄子ゼミ)など、マネジメント領域のゼミで実施されます。計画・準備・実施のプロセスを通して社会人として必要な力を身につけます。



6

教職
課程

人が成長していく過程を見守り、寄り添い、支えたい。体育教師としての将来には無限の可能性があると思う。

卒業後、教員になることを希望している人は、【教職課程】に登録し、所定の科目・単位を履修することで、
・「中学校教諭一種免許状(保健体育)」
・「高等学校教諭一種免許状(保健体育)」
の教員免許取得が可能です。



石井佑哉

中学、高校、大学とずっとラグビーをやってきました。大学に入るまでスポーツは「やるもの」で、ビジネスとして考えることは全くありませんでした。しかし、庄子先生の授業を聞いて、「する」「観る」以外にそれを「支える」、つまりスポーツ産業としての側面があることを知って目からうろこが落ちる思いをしました。特に面白いと思ったのはスタジアムです。スポーツをする場であり観る場でもあるのですが、欧米では試合を観ながら食事できるレストランがあったり、試合のない日でもイベントや飲食など人々のお楽しみ場として活用されている付加価値の高い施設だからです。ゼミではフィールドワークで亀岡の京都スタジアムを訪問し、スタジアムで働く人の話を聞いたり、ゼミとして「SNS活用の提案」についてプレゼンテーションしたりしました。日々実際に運営されているスポーツ産業の最前線に触れ、そこで働く人々と交流できる「生きた勉強」ができるのが楽しいです。「する側」のスポーツは大学までにして、卒業後はスタジアムや球団の職員など「観る側」としてスポーツにかかわっていきたくと思っています。もっといろんな人にスタジアムに来てもらえるようになればうれしいです。

懇親会

コロナ禍でもオンライン懇親会
ゼミ仲間のつながりは学部一!

ゼミ旅行はもちろん、懇親会などゼミ生同士が仲良くなる機会が多いのもこのゼミの特徴です。新型コロナウイルスが流行している時でも、オンライン懇親会を開きました。授業で使っていたZOOMを活用、メンバーを入れ替えてグループ分けしながら、リアルな懇親会以上にお互いが知れた気がします。



※撮影時のみマスクを外しています。



竹下雄大
大阪府立八尾高等学校出身

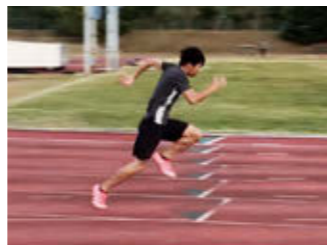
watashi no 100%/1day



- 課外活動：体育会陸上競技部
- アルバイト：スーパー品出し
- 将来の夢：社会で健康に関わること

新たな目標と出会えて フル回転の日々を楽しんでいます。

競技力向上の研究がやりたくて入学したのですが、学ぶうちに子供から高齢者まであらゆる人の役に立てる「健康科学」のおもしろさに目覚め、最先端の知識が得られるエキサイティングな毎日過ごしています。講義の後は陸上部の部活、部活のない日や休みはスーパーでのアルバイト…とフル回転の日々。手応えいっぱい。歴史と伝統を誇る総合大学だけに、出会う友人たちはいろんな分野で活躍している、自分にない長けたものを持っている人ばかり。とても触発されます。おかげで、スポーツだけの狭い視野だった私でしたが、幅広い視野を持てるようになった気がします。夢は将来、学んだ健康に対する知識を社会で還元すること！今から楽しみです。



2019年12月撮影

Student Voice 私の同志社ライフ 充実度100%



藤田真子
東京インターハイスクール出身

watashi no 100%/1day



- サークル活動：同志社混声合唱団こまくさ
- 将来の夢：大学院でアスリートのケガ防止に関わる研究

フレンドリーな先生と充実した大学設備が 「学びと楽しみ」を支えています。

プロを目指していたクラシックバレエをケガでやめた経験から、「アスリートのケガ防止やコンディショニング」に興味を持ち、この学部に入りました。フレンドリーな先生が多く、授業の疑問点について質問すると熱心に教えてくれます。また、図書館は今出川と京田辺の両校地利用可能で、授業の合間やキャンパスを歩き来するサークル活動の隙間時間を見つけて、自主学習に取り組んでいます。図書館のラウンジやラーニング・コモンズ、ローム記念館のオープン・テラスは、複数人で集まって対話するグループワークにも最適です。学びの面以外でも、11月の学祭や12月のクリスマス・イルミネーションなどのイベントを学部の友達やサークル仲間と一緒に楽しんでいます。



2019年9月撮影



施設紹介 Facilities

《最先端の研究設備が探究心をバックアップ》

京田辺キャンパス内の「磐上館(スポーツ健康科学部の研究棟)」には、最先端の「スポーツ」と「健康」に関する測定機器や実験室が設置されています。専門知識豊富な教員の指導のもと、学生は授業やゼミ、自らの研究テーマに沿ってこれらの機器や実験設備を活用し、日々研鑽に努めています。 ※掲載の写真には2019年度以前に撮影したものが一部含まれます。



スポーツ・バイオメカニクス実験室



トレーニング科学実験室 I



トレーニング科学実験室 II



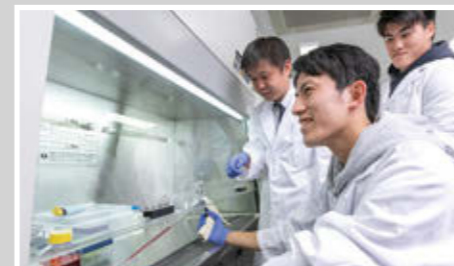
多目的実習室



コンディショニングルーム



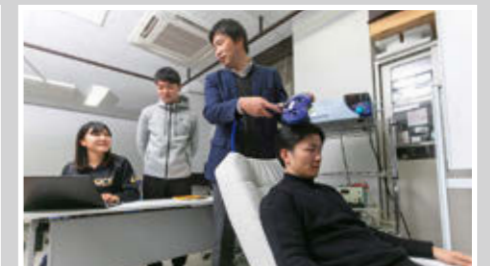
運動生理学実験室 II



細胞培養実験室



分子生物学実験室



運動制御実習室

《同志社のアスリートが集う京田辺校地は研究に最適》

総面積790,000㎡の京田辺キャンパスには、ラグビー部をはじめとする強豪運動部がトレーニングに励むスポーツ関連施設が集約されています。この環境が学生アスリート達とスポーツ健康科学部の双方に相乗効果を生み出しています。



アメリカンフットボール競技場



トレーニングルーム



デイヴィス記念館(メインアリーナ)

キャリアデザイン 「スポーツを仕事にする」という生き方。

スポーツ健康科学部での学びを、社会で生き抜く力に。スポーツ健康科学部では自主性を重んじながらも、各自が修得した専門性を活かして社会に貢献できるよう、進路選択のためのバックアップ体制を強化しています。大学のキャリアセンターによるきめ細かい就職支援に加えて、スポーツ健康科学部独自の講座・セミナーなど、さまざまな方面から学生一人ひとりに寄り添ってサポートします。

■ スポーツ健康科学部独自のキャリアセミナー

本学部では、全学年を対象とした年数回のキャリアセミナーを実施しています。株式会社マイナビのご協力による「エントリーシート・面接対策講座」「本選対策総まとめセミナー」など、就活の時期にあわせ、タイムリーな情報を提供します。また、本学部卒業の社会人や大学院生を招いた講演会も開催。年齢の近い社会人や大学院生の生の声が、自分の将来の姿をイメージしはじめる絶好の契機となります。

■ 学生一人ひとりへの個別面談

1～3年次生各学期終了時の単位修得状況に応じて、教員による個別履修指導を行います。学生一人ひとりと面談し、学習に関わる事から、クラブやアルバイトをふくめた生活の状況についてまで助言します。特に1年次生には大学院生によるチュートリアルセミナーを毎週実施し、マンツーマンで指導。わからないことを質問したり、学習計画のアドバイスを受けるなどして以降の学業に活かします。

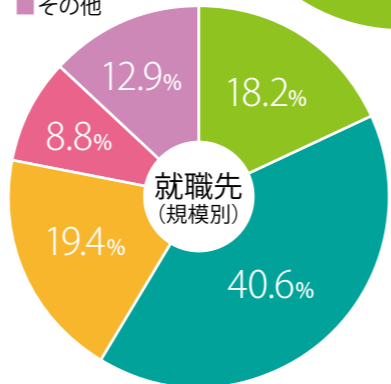
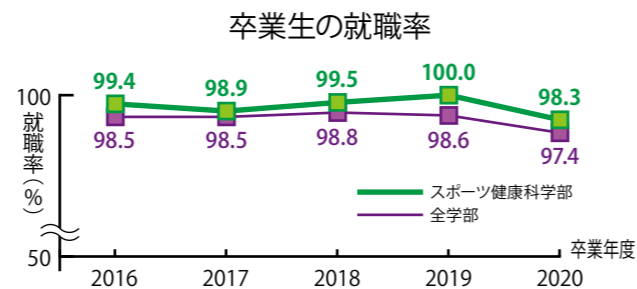
■ オンラインのデータベースを完備

本学キャリアセンターでは、各種セミナーの開催、対面・Webによる個別相談などを通して学生の就職活動をきめ細かくサポートします。センター内資料室では企業情報や就職関連書籍など多くの資料の閲覧が可能です。キャリア支援システム「e-career」は、求人・採用試験情報、就職状況情報のほか様々な独自情報をタイムリーに提供するWebシステムで、就活の貴重なツールとして利用できます。

■ グローバルに活躍したい方へ

将来、外資系企業や国際機関で働きたい、語学力を活かして働きたいと考えている学生を対象に、キャリア形成を目的としてグローバルキャリアフェア（7～9月頃実施予定 全学年参加可能）を開催しています。グローバルなフィールドで活躍中の社会人による講演会など、さまざまなセミナーやイベントを用意しています。1年次生も参加でき、有意義な学生生活を送るヒントを得ることができます。

《数字でみる就職状況：2020年度》



進路・就職先

本学部は2012年3月に第1期生を輩出しました。以下は現在までの主な学生の内地企業一覧を記載しております。(主な進路・就職先。順不同、企業名は就職当時の名称)

■ メーカー

アディダスジャパン、デサント、ミズノ、ヨネックス、アシックス、オムロンヘルスケア、タニタ、トヨタ自動車、三菱自動車、三菱電機、パナソニック、日本電気、富士通、オリンパス、京セラ、島津製作所、ヤマハ発動機、クボタ、神戸製鋼所、旭化成、帝人、ワコール、ニチコン、第一三共、大塚製薬、エーザイ、久光製薬、ツムラ、ロート製薬、小林製薬、サントリーホールディングス、キリンホールディングス、アサヒビール、アサヒ飲料、サントリー食品インターナショナル、カゴメ、日清オイリオ、味の素、キッコーマン、キューピー、明治、花王カスターマーケティング、ライオン、ジョンソン・エンド・ジョンソン、サンスター、日本製粉、山崎製パン、森永乳業、伊藤園、パンダイ 他

■ 金融

三菱UFJ銀行、三井住友銀行、みずほフィナンシャルグループ、りそなホールディングス、関西みらいフィナンシャルグループ、ゆうちょ銀行、三菱UFJ信託銀行、三井住友信託銀行、池田泉州銀行、関西アーバン銀行、京都銀行、滋賀銀行、北陸銀行、南都銀行、福岡銀行、京都中央信用金庫、日本生命、住友生命、東京海上日動あんしん生命、あいおいニッセイ同和損保、東京海上日動火災保険、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、SMBC日興証券、三井住友海上火災保険、野村證券 他

■ サービス

セントラルスポーツ、ルネサンス、三井物産、丸紅、JR東海、JR東日本、JR西日本、阪急電鉄、関西電力、全日本空輸、ANA関西空港、日本通運、西武ホールディングス、出光興産、オリックス、住友不動産、阪急不動産、東急リバブル、近畿日本ツーリスト、HIS、クラブツーリズム、総合警備保障、セコム、吉本興業 他

■ マスコミ・情報通信

NTT西日本、ソフトバンク、KDDI、ヤフー、NTTデータ、日本放送協会(NHK)、静岡朝日テレビ、九州朝日放送、朝日新聞社、報知新聞社、京都新聞社、博報堂、リクルートキャリア、マイナビ、サニーサイドアップ、ジャパンウェイブ 他

■ 流通

三井物産、伊藤忠商事、丸紅、住友商事、アルペン、ゼビオ、JR西日本伊勢丹、高島屋、イオン、ローソン、ニトリ、ヨドバシカメラ 他

■ 教育・学習支援

東京都保健体育教諭、神奈川県保健体育教諭、京都府保健体育教諭、横浜市保健体育教諭、神戸市保健体育教諭、堺市保健体育教諭、近畿大学、聖心女子学院、四天王寺学園 他

■ 公共・その他

東京都庁、愛知県庁、石川県庁、滋賀県庁、国土交通省、国税専門官、出入国在留管理庁、海上保安庁、京都市、大阪市、大津市、城陽市、大阪府警、京都府警、愛知県警、岡山県警、山口県警、東京消防庁、大阪府消防局、京都市消防局、富山市消防局、日本中央競馬会(JRA)、日本赤十字社 他

■ 大学院進学

同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科、同志社大学大学院総合政策科学研究科、同志社大学大学院生命医科学研究科、同志社大学大学院脳科学研究科、筑波大学大学院人間総合科学研究科、大阪市立大学大学院生活科学研究科、九州大学大学院システム生命科学府 他



目標を持つことは
大学での学びを豊かにしてくれます。

野々村 柁 さん

木津川市立木津南中学校
ソフトボール部顧問
2020年卒 京都府立鳥羽高等学校出身

卒業生からのメッセージ — message from Graduates —

まずは広く、そして深く・・・
それは学問にも仕事にも共通する。

伊後 達矢 さん

株式会社アシックス
コアパフォーマンススポーツウェアフットウェア統括部
開発部コート開発チーム
2018年卒 同志社国際高等学校出身



卒業し早や四年になりますが、実習や実験に明け暮れ「正解を導き出す方法はひとつではない」ことを学んだ大学時代のことをいまでもよく思い出します。

入社後、配属されたのは東京で、長野エリアの営業を担当しました。自社製品のすべてを扱うここでの仕事は、新入社員の私にとって会社全体を俯瞰する良い機会となりました。その後、幼少期の海外生活で培った語学力を活かしたいという希望が叶い、現在は神戸の本社で海外モデルも含むインドア系シューズの企画・開発を担当しています。同じ種目でも国や地域によって求められるものは様々ですが、それは世界を相手に仕事をしている醍醐味でもあります。

プライベートではいまま陸上競技を続けているので、本社勤務になつてからは大学でトレーニングをさせていただいて、学生のみなさんとの交流が製品作りへの良いフィードバックにもなっています。

少子高齢化の時代ですが、生涯に渡ってスポーツを身近な存在として楽しめる社会づくりのため、学部での学びを役立てていきたいと考えています。

※所属の部署は取材当時のものです。

■ 教員紹介

スポーツ健康科学のスペシャリストが
学生の志に向き合い「広く、深く」目指すべき目標へ導きます。

Member of Faculty



■ 新井 彩(准教授)
Aya Arai
《研究分野》
トレーニング科学/バイオメカニクス
《主な担当科目》
トレーニング論/基礎実習
スポーツパフォーマンス1



■ 海老根 直之(教授)
Naoyuki Ebine
《研究分野》
スポーツ栄養学/栄養学
《主な担当科目》
スポーツ栄養学
スポーツ方法実習・同指導法実習(バドミントン)



■ 遠藤 華英(助教)
Hanae Endo
《研究分野》
スポーツを通じた国際協力
《主な担当科目》
スポーツ・健康の科学C
スポーツパフォーマンス1



■ 藤澤 義彦(教授)
Yoshihiko Fujisawa
《研究分野》
スポーツ測定評価・方法
《主な担当科目》
スポーツ測定評価論
競技者育成システム論



■ 中村 康雄(教授)
Yasuo Nakamura
《研究分野》
スポーツ・バイオメカニクス
《主な担当科目》
スポーツ機能解剖学/スポーツ・バイオメカニクス
スポーツ統計情報処理/スポーツ健康科学のための自然科学入門
スポーツ統計情報処理/スポーツ健康科学のための自然科学入門



■ 二宮 浩彰(教授)
Hiroaki Ninomiya
《研究分野》
スポーツ・マーケティング
《主な担当科目》
スポーツ社会学/スポーツマーケティング論
スポーツ方法実習(ウォータースポーツ)



■ 庄子 博人(准教授)
Hiroto Shoji
《研究分野》
スポーツビジネス
《主な担当科目》
スポーツ・マネジメント論
スポーツビジネス論



■ 高倉 久志(准教授)
Hisashi Takakura
《研究分野》
運動生化学
《主な担当科目》
スポーツ健康科学のための自然科学入門/基礎実習
スポーツ方法実習(陸上競技)



■ 福岡 義之(教授)
Yoshiyuki Fukuoka
《研究分野》
環境生理学/生理人類学
《主な担当科目》
生理学/環境生理学



■ 北條 達也(教授)
Tatsuya Hojo
《研究分野》
スポーツ医学
《主な担当科目》
スポーツ医学B(外科系)/リハビリテーション医学
生活習慣病概論



■ 石井 好二郎(教授)
Kojiro Ishii
《研究分野》
運動処方
《主な担当科目》
発育発達と老化/スポーツ健康科学論入門
健康運動論



■ 石倉 忠夫(教授)
Tadao Ishikura
《研究分野》
スポーツ心理学
《主な担当科目》
スポーツ心理学
メンタル・トレーニング論



■ 竹田 正樹(学部長/教授)
Masaki Takeda
《研究分野》
スポーツ生理学
《主な担当科目》
スポーツ生理学
スポーツ方法実習・同指導法実習(スキー)



■ 田附 俊一(教授)
Shunichi Tazuke
《研究分野》
スポーツ運動学
《主な担当科目》
スポーツ運動学
スポーツ方法実習・同指導法実習(陸上競技)



■ 土屋 吉史(助教)
Yoshifumi Tsuchiya
《研究分野》
筋骨格系恒常性維持に貢献する臓器連関
システムの解明
《主な担当科目》
スポーツ・健康の科学A/基礎実習



■ 若原 卓(准教授)
Taku Wakahara
《研究分野》
バイオメカニクス/トレーニング科学
《主な担当科目》
スポーツ生体ダイナミクス



■ 井澤 鉄也(教授)
Tetsuya Izawa
《研究分野》
スポーツ生化学
《主な担当科目》
スポーツ生化学/生理学
スポーツ健康科学のための自然科学入門



■ 上林 清孝(准教授)
Kiyotaka Kamibayashi
《研究分野》
神経生理学
《主な担当科目》
身体運動制御論/基礎実習
スポーツパフォーマンス1



■ 河西 正博(助教)
Masahiro Kawanishi
《研究分野》
障害者スポーツ論/障害学
《主な担当科目》
障がい者スポーツ論
障がい者スポーツ指導論



■ 松倉 啓太(助教)
Keita Matsukura
《研究分野》
スポーツにおけるコーチング
《主な担当科目》
コーチング論/教育実習A・B・C
スポーツ方法実習(サッカー)



■ 渡邊 彰(教授)
Akira Watanabe
《研究分野》
体育科教育学
《主な担当科目》
スポーツ教育学/スポーツ行政論
保健体育科教育法A1・A2・B・C



■ 柳田 昌彦(教授)
Masahiko Yanagita
《研究分野》
公衆衛生学
《主な担当科目》
公衆衛生学/学校保健/健康教育学
スポーツ方法実習・同指導法実習(剣道)



■ 築瀬 康(助教)
Ko Yanase
《研究分野》
健康科学/リハビリテーション
《主な担当科目》
スポーツマッサージ・テーピング論
コンディショニング論



■ 横山 勝彦(教授)
Katsuhiko Yokoyama
《研究分野》
スポーツ政策
《主な担当科目》
スポーツ政策論/スポーツ組織文化論
スポーツ方法実習・同指導法実習(柔道)

留学・国際交流

※各表は2019年度のもの。今後の世界情勢に鑑み、プログラムが変更または中止となる可能性があります。

■ [短期] サマープログラム・スプリングプログラム 長期休暇中に、集中的に語学を学びます。

長期休暇を利用して海外で語学研修を行うプログラムです。本学での事前授業と留学先での研修によって集中的に外国語運用能力を高めるとともに、研修先の国の文化・社会への理解を深め、国際的な視野を養います。

◆ サマープログラム

研修校・研修地	募集人数	研修期間
ヨーク大学[イギリス]	約24名	8月初旬～9月初旬
ディーキン大学[オーストラリア]	約20名	8月初旬～9月中旬
ゲルフ大学[カナダ]	約40名	8月初旬～9月初旬
アリゾナ大学[アメリカ]	約20名	8月中旬～9月中旬
セブ医科大学[フィリピン]	約30名	8月初旬～8月下旬
トンプソン・リパース大学[カナダ]	約30名	8月中旬～9月中旬
スタンフォード大学[アメリカ]	約10名	8月初旬～8月下旬
カリフォルニア大学デービス校[アメリカ]	約25名	8月初旬～9月初旬
コーク・カレッジ大学[アイルランド]	約15名	8月初旬～9月初旬
ロンドン芸術大学[イギリス]	約28名	8月初旬～8月下旬
ケンブリッジ大学[イギリス]	約40名	8月初旬～8月下旬
カリフォルニア大学サンディエゴ校 [アメリカ]	約30名	8月下旬～9月中旬
マルティン・ルター大学[ドイツ]	約20名	8月初旬～9月初旬
フランス＝コンテ大学[フランス]	約20名	8月初旬～9月初旬
北京大学[中国]	約20名	8月初旬～8月下旬
ラス・アメリカス大学[メキシコ]	約20名	8月初旬～9月初旬
サンクトペテルブルク経済大学[ロシア]	約20名	8月中旬～9月初旬
延世大学[韓国]	約20名	8月下旬～9月中旬

◆ スプリングプログラム

研修校・研修地	募集人数	研修期間
ホーソン・メルボルン英語学校 [オーストラリア]	約25名	2月下旬～3月下旬
ヨーク大学[イギリス]	約24名	2月中旬～3月下旬
セブ医科大学[フィリピン]	約30名	2月中旬～3月初旬
セント・メアリーズ大学[カナダ]	約30名	2月下旬～3月中旬
カリフォルニア大学アーバイン校[アメリカ]	約25名	2月中旬～3月中旬
オタゴ大学[ニュージーランド]	約25名	2月中旬～3月下旬
オークランド大学[ニュージーランド]	約20名	2月中旬～3月中旬
フライブルク大学[ドイツ]	約16名	3月初旬～3月下旬
CAVILAM(クレルモン・フェラン大学監修)[フランス]	約20名	2月中旬～3月下旬
華東師範大学[中国]	約20名	2月下旬～3月中旬
サラマンカ大学[スペイン]	約20名	2月下旬～3月中旬
慶熙大学[韓国]	約20名	3月初旬～3月下旬

■ [中期] セメスタープログラム(英語) 約4カ月間の滞在中で、じっくり英語を学びます。

秋学期1セメスターのうち約4カ月間、海外で英語研修を行う留学プログラムです。春学期の事前授業で、研修先の国の文化・社会や歴史への理解を深め、秋学期に外国語教育に定評のある海外の教育機関で集中的に英語研修を受け、英語の運用能力を高めます。じっくり英語を学びたい方、長期留学を目指す方に人気のあるプログラムです。

◆ セメスタープログラム(英語)

研修校・研修地	募集人数	研修期間
ウィニベグ大学[カナダ]	約30名	9月初旬～12月下旬
ディーキン大学[オーストラリア]	約30名	8月中旬～12月中旬
ハワイ大学[アメリカ]	約30名	8月下旬～12月下旬

■ [中期] EUキャンパスプログラム 約5カ月間、ドイツの同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで学びます。

ドイツのテュービンゲン大学内に設置した「同志社大学テュービンゲンEUキャンパス」で開講する教育プログラムです。

春学期には、ドイツ語の運用能力向上を主目的とした「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」、秋学期には、英語または日本語で現地の学びを深める「ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム」を開講しています。

プログラム	募集人数	研修期間
ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム	約15名	3月初旬～8月中旬
ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム	約15名	9月初旬～1月下旬

■ スポーツ健康科学部における国際交流

◇スポーツ健康科学特殊講義S(海外フィールドワーク科目)

約1週間の海外生活を通して現地のスポーツ事情に触れることで、国内では得ることのできない幅広い知見を身につけます。本学部の専任教員が引率するので海外経験のない学生も安心して参加できます。正課科目のため卒業必要単位にも算入されます。


これまで実施されたプログラム内容(年度毎に内容が変更します)
 ・カナダをめぐるアイスホッケー文化を体験 ・ドイツのスポーツ文化とその背景
 ・ニューヨークをめぐる最先端スポーツビジネスの視察

◇学部間協定による派遣留学

スポーツ健康科学部ではオスナブルック大学教育文化学部スポーツ運動学科(ドイツ)とテュービンゲン大学経済学・社会学部スポーツ科学研究所(ドイツ)、およびマドリッド工科大学身体活動・スポーツ科学部(スペイン)と学生派遣交流協定を締結しています。留学中も本学に在籍し、留学期間は卒業に必要な4年の修業年限に算入されます。学部間の研究分野が合致した、学業上の相関関係が高い留学先なので、専門の分野をしっかりと学べます。

同志社大学の留学サポート	●各種留学説明会・イベントの開催	●留学コーディネーターによる相談受付	●派遣留学促進のための奨学金制度
	●語学テスト対策	●留学生との交流イベント	●冊子「海外留学マニュアル」の発行
		●資料コーナーの充実	

私の留学体験記




3年次生の1年間、ドイツのオスナブルック大学の教育文化学部スポーツ運動学科に留学しました。主に学んだのは「スポーツ教育学」。スポーツを教えるために対象や目的に対して、どう教えていけばいいかを理論と実践の両面から追究する学問です。最初は、あいさつ程度のドイツ語だけで大丈夫かと心配だったのですが、授業の配布資料を翻訳したり、ドイツ語と英語で話す努力をしているうちに語学力もつき、そのうち休

留学体験が行動力あふれる自分に変えてくれた！


みを使ってヨーロッパ諸国を一人で観光できるまでになれました。「行きたい!」の気持ちさえあれば何とかなるものです。学ぶのも一人、旅するのも一人。困ったことがあれば解決策を見つけるために教授や現地の友達、大学の国際課事務室などに聞いたり頼んだりと自分が行動しなくてはならず、単なる根性論を超え、「自分がやると決めたことを行動に起こす方法」を身につけられたのです。

ほかにも、寮のフラットメイト(同じ階でキッチンやシャワーなどを共有する仲間)として、ヨーロッパ、アジア、アフリカなど各国からの留学生たちと仲良くなったのも成果。留学で出会った一部の友とは今もSNSでつながっています。

いずれも留学しなかったらできなかった体験であり、



《中嶋優晴》2019年度、学部間協定での派遣留学制度でドイツ・オスナブルック大学に留学。



奨学金

奨学金には、経済的な困難を抱える学生の支援を目的とした経済支援奨学金と、学業やスポーツ、文化活動などを奨励することを目的とした奨励奨学金の2種類があります。経済支援奨学金には同志社大学奨学金(給付)をはじめとした本学独自の奨学金のほか、日本学生支援機構奨学金や民間・地方公共団体奨学金などがあります。いずれも、家族の所得や家族構成、学業の状況などから判断し支給が決定されます。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

【スポーツ健康科学部が選考・推薦する奨学金(奨励奨学金)の選考基準(2021年度の場合)】

奨学金種類	選考基準
同志社大学英奨学金(7名以内、各30万円)	<ul style="list-style-type: none"> ●学業分野: 3年次生の学業成績優秀者(累積GPAの優秀者)2名、ならびに公募によるスポーツ、文化、芸術、社会活動などの業績が優秀かつ学業成績が優れる者1名 ●正課外分野: 公募によるスポーツ、文化、芸術、社会活動などの分野で業績をあげた者に対して大学全体で20名以内(学部より最大4名)
同志社大学スポーツ健康科学部奨学金(8名、各10万円)	<ul style="list-style-type: none"> ●学業分野4名: 1・2・3年次生の学業成績優秀者各1名(3年次生は2名) ●スポーツ、文化、芸術、社会活動などの分野で業績をあげた者4名: 同志社大学英奨学金同分野に準じる
同志社大学スポーツ健康科学部教員父母連絡会奨学金(12名以内、各5万円)	<ul style="list-style-type: none"> ●学業分野4名: 1・2年次生の学業成績優秀者各2名 ●スポーツ、文化、芸術、社会活動などの分野で業績をあげた者8名以内: 同志社大学英奨学金同分野に準じる

学費

(参考) 2022年度入学生の学費および諸費は以下の通りです。2023年度入学生の学費は、決定次第大学ホームページで公表します。

第1年次合計	入学手続時納入必要額	学費				諸費
		入学金	授業料	教育充実費	実験実習料	学会費等
1,343,000	771,500	200,000	925,000	160,000	50,000	※8,000

(1) 入学金は初年度のみ徴収します。
 (2) 授業料・教育充実費・実験実習料については、各々2分の1が春学期および秋学期学費です。
 (3) 入学金手続時納入必要額は、入学金全額と、春学期学費および諸費の2分の1です。※諸費については、教員父母連絡会費(5,000円)、学会費(3,000円)
 (4) 第2年次から第4年次の学費は下表のとおり徴収します。

学年	授業料	教育充実費	実験実習料
第2年次	952,000	169,000	80,000
第3年次	959,000	178,000	100,000
第4年次	966,000	187,000	100,000

※諸費として、学会費(第1年次と同額)、教員父母連絡会費(第1年次と同額)を毎年徴収します。また、第4年次には全学部生から校友会費を徴収します。

入試情報

【2023年度入試種別について(予定)】

入試種別	募集人数	入試概要
一般選抜入試	全学部日程・理系	90名 〈文系・文系型〉 「英語」(200点)、「国語」(150点)、「選択科目(地理歴史・公民・数学)」(150点)の3教科(500点満点) 〈理系・理系型〉 「英語」(200点)、「理科」(理科200点)、「数学」(150点)の3教科(550点満点) ※志願者は計3回「全日・理系」、「全日・文系」、「個別(理系または文系)」受験が可能です。
	全学部日程・文系	
	学部個別日程(理系型)	
	学部個別日程(文系型)	
大学入学共通テストを利用する入試	3科目方式	5名 共通テスト3科目(400点満点) 「英語」(200点)、「国語、地理歴史・公民、数学、理科から2教科2科目選択」(1科目100点)
	5科目方式	10名 共通テスト5科目(600点満点) 「英語」(200点)、「国語」「地理歴史・公民」「数学」「理科」(各100点)
	スポーツ競技力加点方式	19名 共通テスト3科目(400点満点)とスポーツ競技成績による書類審査(200点満点)の合計点(600点満点)にて判定。スポーツも勉強もアピールしたい方を迎え入れる制度です。 ※共通テスト3科目の科目の配点は3科目方式と同じ
スポーツ能力に優れた者を対象とする特別入試	36名	各種競技スポーツにおいて全国大会での試合に正選手として出場し、優秀な競技成績を収めた者を対象とした公募制の入試制度です。
アドミッションズオフィス(AO)方式による入学者選抜	4名	学力試験では評価できない多様な能力、大きな可能性を秘めている人材を積極的に迎え入れる公募制の入試制度です。
海外修学経験者(帰国生)入試	若干名	海外での学修経験があり、スポーツへの強い情熱を持つ学生を迎え入れる制度です。
社会人特別選抜入試	若干名	セカンドキャリア構築に意欲を持つトップアスリートを対象とした入試制度です。

※この他に推薦入試(法人内諸学校、キリスト教主義学校の地域ネットワーク連携高等学校)、トップアスリート入試、京都府立高等学校特別入試、外国人留学生入試などがあります。

スポーツというフィルターを通して世界を見てみると.....

世界の問題を世界の人たちが共有、力を合わせて解決していくにはさまざまな方法があります。私が研究しているのはスポーツを通じた国際協力。日本に住んでいると、一見対岸の火事に思えるブラックライブスマター（Black Lives Matter）、レイシズム（人種主義）、環境などの問題も、ひとつひとつスポーツという一つのフィルターをかけて見てみると、アメリカのMLBやナショナルフットボールリーグの選手、大坂なおみさんたちの積極的な発言が日本のメディアで報道され、一気に身近な問題に浮上します。また、スポーツが社会のさまざまな側面に影響を及ぼして問題解決に寄与することもあります。私がかつて研究したラオスの障害者スポーツでも、



それが障害者たちの心を支え社会復帰の原動力になる事例がありました。車椅子バスケットボールをする選手は、車椅子が故障したら自分たちで修理することが習慣化し、それを通じて修理技術を習得しました。その技術を活かして起業し、新たな障害者雇用につながっています。今では全国で障害者スポーツの大会が開けるほど盛んになっています。このラオスの障害者スポーツ、実は約20年前に日本のNGO（非政府組織）の働きかけによって生まれたもの。スポーツによる国際協力が生んだ問題の共有と解決の好例です。スポーツは「する」「観る」だけでなく「世界への貢献」の手段にもなり得るのです。



ラオス現地調査でお世話になった
ブラインドサッカーアシスタントコーチと
国際大会で再会しました（2017年撮影）



2017ASEANパラゲームズにてタイ応援団と一緒に車椅子バスケット観戦

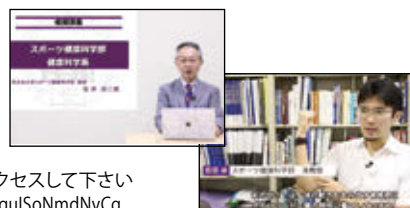
スポーツ健康科学部 公式YouTubeチャンネル開設!! パソコン、スマートフォン、タブレットで“Go To DOSHISHA”

/ 同志社大学スポーツ健康科学部【公式】

スポーツ健康科学部の教員が授業をわかりやすく紹介する模擬授業のほか、20以上あるゼミの中から9つのゼミ紹介、スポーツ健康科学部の施設「磐上館」などをご覧いただけます。オンラインで憧れのキャンパスライフを体験してください。



下記のURLまたは右のQRコードをスキャンしてアクセスして下さい
<https://www.youtube.com/channel/UCGTuZVDJNhPguIsoNmdNvCg>



ACCESS

京田辺校地へのアクセス

大阪方面から

◆ JR環状線「大阪」から「京橋」へ約6分→
JR学研都市線で「同志社前」へ約40分（快速利用）
→徒歩約10分

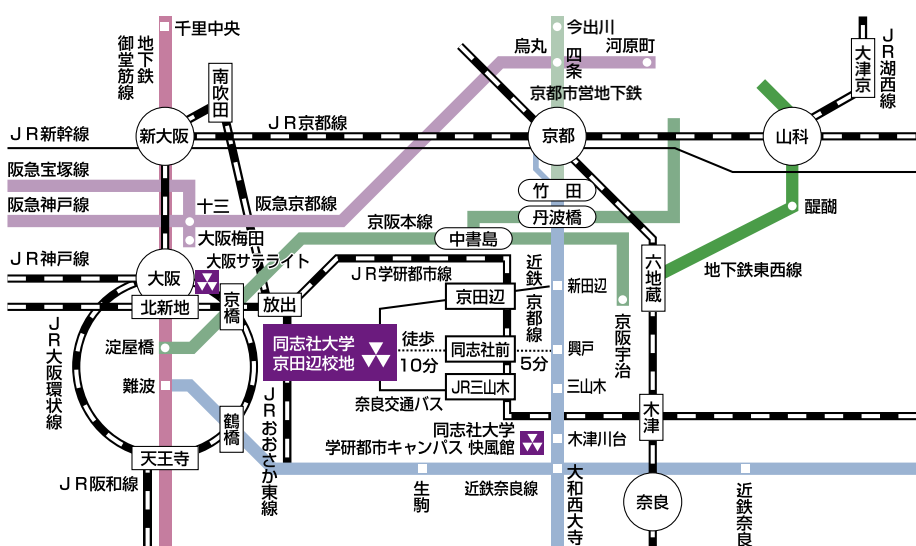
◆ JR東西線「北新地」から
「同志社前」へ約50分→徒歩約10分

京都方面から

◆ 近鉄京東線「京都」から「興戸」へ約25分
（京都～新田辺間急行利用）→徒歩約15分

奈良方面から

◆ 近鉄奈良線「大和西大寺」乗り換え、
近鉄京東線「興戸」へ約25分→徒歩約15分



同志社大学 スポーツ健康科学部

〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3 TEL : 0774-65-6030 FAX : 0774-65-6029 E-mail : jt-spoj@mail.doshisha.ac.jp

<https://sports.doshisha.ac.jp/> 同志社大学スポーツ健康科学部

検索

右のQRコードをスキャンすると
学部ホームページにアクセスできます。

